

滿洲事變の概要

一 事變發生前の概要

近時支那の帝國に對する態度は、甚だ好ましくならぬものがあつた。最近兩國間に起つた事件は、大小三百餘件にも及び、殊に其内でも駐支公使のアグレマン問題、萬寶山、青島事件、支那官兵の中村大尉虐殺事件は、吾人の今尙忘るゝことの出来ない重なる事柄である。其他本年七月以降滿洲に起つた事件は、十二件にも及び、皆我が居留民や軍人軍隊に對して不法行爲を爲し、侮辱或は迫害を加へて居る。又八月下旬支那側の公式宴會席上では、日本と一戦を交へ滿洲より驅逐せよとか、日本軍人

は、近時實戰の經驗に乏しいが、支那側は、國內戰で十分修練をして居る。隨て若い將校達は鼻息が頗る荒い等と、文武の要人が公然豪語して居るが如き、昔日の消極的排日は漸次積極的の毎日行爲と化し、遂には挑戰的態度に出づるに至つた。事件發生の數日前には、今回事件の中心をなして居る北大營の王以哲旅團長は、「予は日支間の現況に鑑み曩きの露支事件に於ける韓光弟（事件を起し勇敢に戦ひ死歿す）たるべし」と放言したり、又滿洲の各地で支那人間に、「近々日本勢力驅逐」とか、「近日南滿で支那軍憲よりの衝突がある筈」等との風説や、情報が、相次で傳へられて居つた。

右様の次第で、支那側就中滿蒙に於ける對日態度は、極度に挑

戰的であつて、自然日支間の空氣が尖鋭化し、重大なる事態が勃發せねばよいかと憂へて居つた矢先に、今回奉天附近で支那軍隊の滿鐵破壞の暴舉が此の兩者間の張り切つた感情に附け火をして、遂に事件を重大化するに至つたのである。

二 事變發生の動機及爾後の經過

これは洵に重大なることではあるが、事柄其ものは極めて明瞭であり且簡單である即ち九月十八日午後十時三十分頃支那將校の率ふる二三中隊は北大營（旅長王以哲の率ゆる約七千人在營す）西南側の滿鐵線路を爆破し次で恰も當時線路巡邏中の我守備兵を襲ひ且柳條溝分遣隊方面に前進した、此の報に接した我虎石臺守備中隊は直に之を救援すべく線路上を南下した所が支

那軍は北大營西南側より兵營に遁げ込んだので我中隊が之を追うて北大營に進入せんとすると兵營内に在つた支那軍は猛烈に銃火を之に浴せた爲同中隊は兵營の一角に占據して對抗したが支那兵は更に機關銃、歩兵砲等を増加したので中隊は一時苦戰に陥つたが（野田中尉重傷す）間もなく在奉天の獨立守備第二大隊（長 島本中佐）主力の應援する所となり共に北大營攻撃を開始したが鐵嶺方面に在りし獨立守備第五大隊（長 田所中佐）の主力は此報を聞きて増援し概ね十九日未明過に北大營の敵を驅逐した、營内には無数の打ち殻藥莢と、各所に小銃彈、手榴彈等の實包が相當に分配された儘遺留されてあつた。

日新新聞

正規兵五六中隊が
満鐵を破壊す
我が守備隊撃戦を交へ
北大營を占領

(奉天十八日發電通) 本日午後十時卅分頃奉天の西方約二里北大營北部に於て有力なる支那兵の一團が南滿鐵道を破壊し我が守備兵は時を移さず現場に出動し交戦を開始したが支那兵は頑強に抵抗したるも我軍は大砲をもつて攻撃し北大營の一部を占領した

(奉天十九日發電通) 北大營に於て支那兵と交戦中の我が守備兵は野砲機關銃をもつて攻撃し苦戦の末十九日午前零時三十分北大營を完全に占領した

關東軍に出動命令

(奉天十九日發電通) 十九日午前二時四十分關東軍特務機關長より陸軍省に對し左の如き電報を發した

北大營にある支那軍は十九日午前零時滿鐵を破壊せり我が軍は直ちに交戦中なるも支那兵は尙盛んに抵抗を續けてゐる。本庄關東軍司

奉天軍の襲撃から
日支兩軍遂に交戦
我軍北大營の一部を占領
更に奉天城を砲撃

兩軍衝突の原因？
支那軍滿鐵線を爆破
わが守備隊を襲撃す

明年度の歳入減見報
一億二千万圓見當

閣僚與黨幹部
愈々大遊説

確に官兵

奉天城を砲撃を開始
我軍北大營の兵營占領
駐在二十九聯隊出動

奉天十八日發電通 奉天北方二マイルにおける日支兩軍の激戦はなんに續けられてゐる。奉天駐在の第二十九聯隊および鐵道守備の獨立守備隊

奉天十八日發電通 午後十一時二十分我軍は北大營の支那兵營の一部を占領した

奉天十八日發電通 我軍は奉天城に向つて砲撃を開始した午後十一時

奉天十八日發電通 奉天北方二マイルにおける日支兩軍の激戦はなんに續けられてゐる。奉天駐在の第二十九聯隊および鐵道守備の獨立守備隊

奉天城正門と

我鐵道守備隊應戰す

奉軍滿鐵線を爆破
日支兩軍戦端を開く

陸軍第一旅の兵と衝突目下激戦中である

奉天十八日發電通 本日午後十時半北大營の西北において暴戻なる支那兵が線路を爆破し我が守備兵を襲撃したので我が守備隊は時を移さずこれに應戦しをもつて北大營の支那兵を砲撃し北大營の一部を占領した

奉天十八日發電通 十八日夜十時半北大營西北側において支那兵と我守備隊兵とが開始されたが續いて十一時二十分獨立守備隊は全力をあげて北大營を攻撃在二十九聯隊は友軍の危機を救ふ目的で商ふ地内の支那兵を掃蕩すべく攻撃ある。目下砲聲折々全市を震動しつゝある

THE TOKYO ASAHI SHIMBUN (日曜大)

満洲支那官憲のため
我現役大尉慘殺さるる
同行の日露蒙人三名も

本日記事解説一當局の發表

所有品全部を略奪
無殘な銃殺を行ふ

陸軍の
主張通る

戦時でも
なし難き暴虐

政府無時も甚しと

10-9
新進の札商
古豪大通商を破る

桐生中學勝
全國中等野

死體を山地で焼く
證據消滅を圖つて

証據消滅を圖つて
死體を山地で焼く

軍部は條約違反と極度に憤慨

自由

寫眞

殺された地獄と中
村大尉の未亡人